



昭和33年(1958)~

たままみ

群馬のスポーツ人⑨ 走り高跳びの天才

八木



八木たまみは1958(昭和33)年11月15日、伊勢崎市で、兄、弟の三人兄弟で育ち、遊びといえばビー玉、めんこ、チャンバラ、魚とりと男の子顔負けの元気いっぱい。運動会での活躍が楽しみだった。殖蓮中学に入り体操部、持ち前のバネを買われて2年になって陸上部に。身長は1.64mとジャンパーとしては決して恵まれてはなかったが走り高跳びの魅力に魅せられた上、無類の練習熱心とあって、文字通り雨の日も風の日も練習に明け暮れた。その中学時代からジャンパーとしての記録更新が始

まる。中学新を次々に記録、高校に入って、昭和51年の佐賀国体では日本タイ記録の185cm、そしてついに目指していた日本記録186cmには昭和53年の日中対抗で成功、次いで188cmもクリア。その年の長野国体では、自分の身長よりも26cmも高い190cmを跳び、「空間征服抜き(身長と跳んだ高さとの差)の女子世界最高」としてギネスブックに掲載されるなど、中学・高校・学生・日本の全ての記録を塗り替え「八木時代」を築いた。現在テレビなどスポーツ関係のリポーターとして活躍している。

